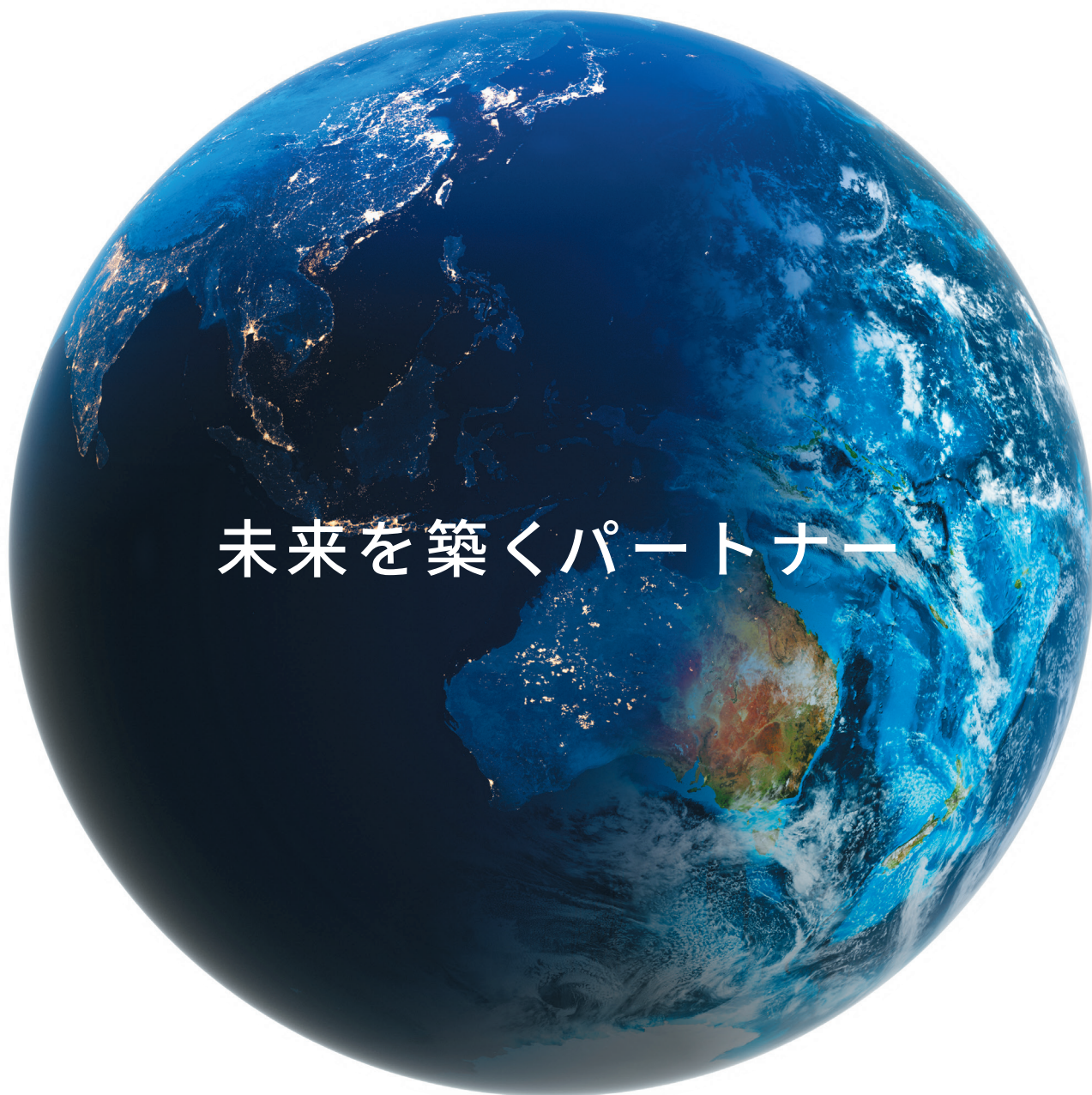


# 会社案内

COMPANY BROCHURE of TOKYO BOEKI MATERIALS LTD.



未来を築くパートナー



東京貿易マテリアル株式会社

## 「鉄鋼業界における総合マテリアルプロバイダー」として、 お客様の課題解決と社会の発展に貢献し続けます。

カーボンニュートラルに向けた業界構造の変革、AI や IoT に代表される IT 技術の劇的な進化、コロナ禍を経て一層の加速を続ける働き方改革など、世界を取り巻く事業環境はかつてない変化の時を迎えています。そんな中、私たち東京貿易マテリアルは、鉄鋼事業、資材事業という、東京貿易創業以来の“祖業”を受け継ぎながら、より積極的に、より多彩に、よりグローバルに、ビジネスそのものを進化させてまいります。そして、「鉄鋼業界における総合マテリアルプロバイダー」として、お客様への価値発揮を最大化するために、以下“4つの強化施策”を実行いたします。

### 1. 取り扱い商材の増強

東京貿易マテリアルでは、主力の鉄鋼事業、資材事業、デジタルソリューション事業に加え、新たな商材の開発や調達に着手し、取り扱いメニューの増強に努めております。

2023年には日本アドバンスロール株式会社の発行済み全株式を取得し、グループ会社として迎え入れることで、圧延ロール製品がラインナップに加わりました。

両社の強みを最大限発揮して、ロール事業を国内ナンバーワン、更には世界ナンバーワンへと拡大展開させていきます。

### 2. 取引先の拡大

我が国の鉄鋼業界は、脱炭素化に向けた電炉への転換、DX 推進による生産性向上といったさまざまな課題に直面しています。そうした課題をともに解決するべく独自のデジタルソリューションを投入することで、従来のお客様はもとより、新たなお客様に対してもご提案の機会を広げてまいります。

### 3. 海外拠点の増設

強みである中国市場に加え、インド、インドネシア、そしてベトナムにおける販売強化と併せて、海外における鋼材の最終製品工場の立ち上げにも挑戦します。

### 4. 人材力の強化

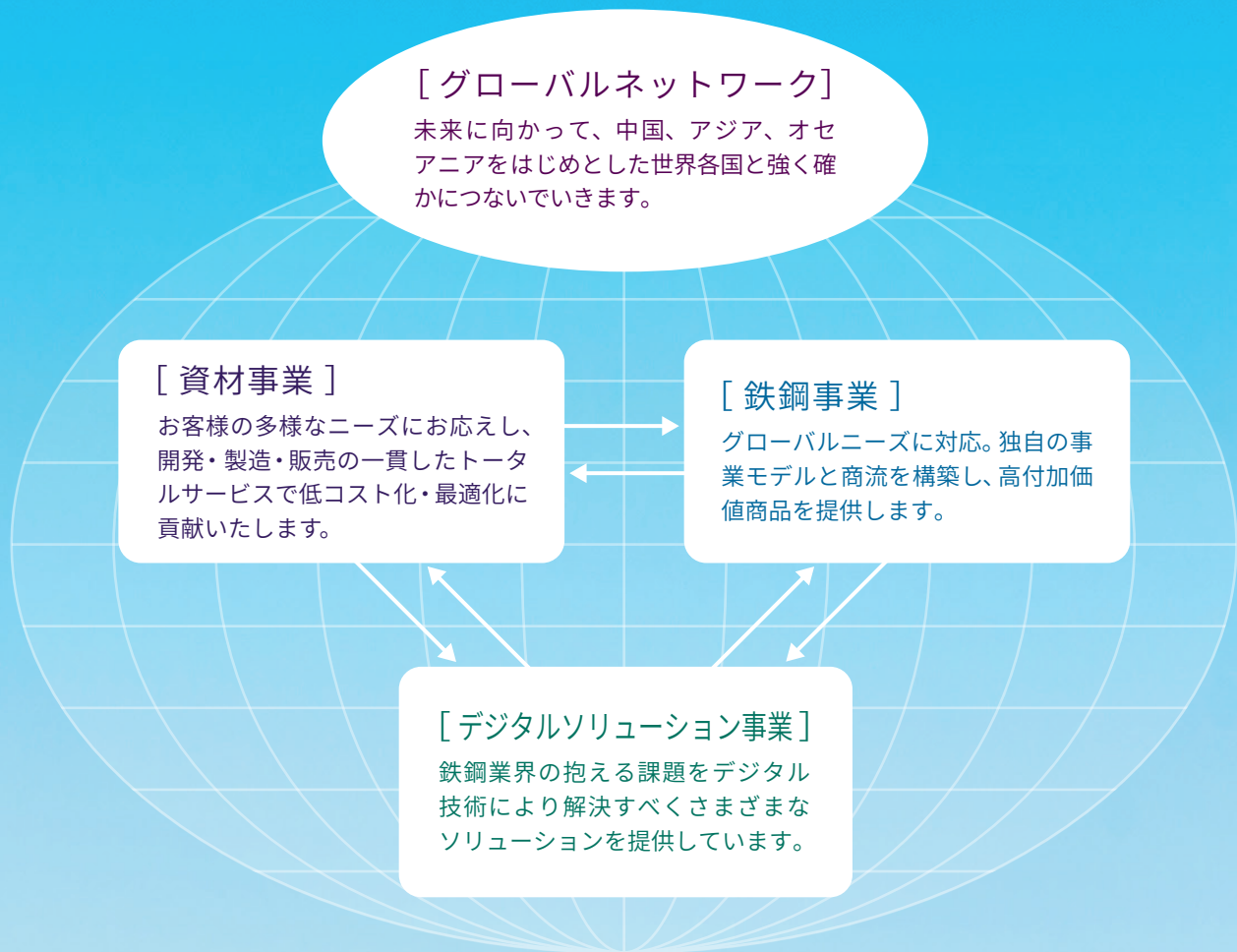
言わずもがな、商社にとって“人こそ最大の財産”です。採用の強化にとどまらず、語学研修や資格取得支援制度他、さまざまな育成機会を充実させてまいります。

東京貿易マテリアルに声を掛ければ、必要なマテリアルを揃えてくれる、製造現場の困りごとを一緒に解決してくれる。そんな会社でありたいと心から願っています。これからも、東京貿易グループの持つ総合力を大いに活用しながら、コアバリューである『全員経営の精神』を胸に、社員一人ひとりがお客様に全力で伴走し続けます。そして、鉄鋼業界を通じて社会の発展に貢献していく所存です。

皆様方の益々のご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

東京貿易マテリアル株式会社  
代表取締役社長  
重住 寛





私たちの事業は、高品質・低コストな耐火物等を鉄鋼業界へ安定供給する「資材事業」、鉄鋼製品の輸取引・三国間取引を展開する「鉄鋼事業」、鉄鋼業界の事業変革に伴走する「デジタルソリューション事業」の3つからなり、ものづくりの現場でお客様のお役に立ち続ける“鉄鋼業界における総合マテリアルプロバイダー”として、グローバルに事業を展開しています。

いずれの事業も、業界全体の発展とものづくり現場の進化を支えるべく、商品・サービス・技術開発から事業構築まで、世界中のお客様に最適なソリューションを提供していきます。また、カーボンニュートラルや DX 推進といった鉄鋼業界を取り巻くさまざまな課題に対し、製造現場発の新たなソリューション開発に積極的に挑んでいきます。

今後も世の中の動きやお客様のニーズを的確に掴み、M&A など積極的な事業投資や事業提携を通じ、一つひとつの革新と、一人ひとりの飽くなき挑戦で、より良いサービスを追求し続けます。





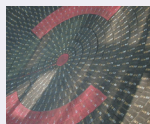
## 鉄鋼業に必要な資機材・サービスを、 開発～アフターサービスまでトータルに提供。

中国の合弁会社において開発・製造した耐火物などを製鉄各社へ安定供給し、アフターサービスまでを含めたトータルソリューションを提供しています。高品質・低価格の定形耐火物から不定形耐火物まで幅広いレンジの耐火物を取り扱っています。セラミックス事業では、エンジニアリングパートナーとして、設計、製造から施工、メンテナンスまでの一貫したサービス提供を行っています。また、今後も世界の鉄鋼製品需要の増加が見込まれる中、当社グループの日本アドバンスロール株式会社が製造する圧延用鍛造ロールを新たな商品ラインナップに加えることで、総合マテリアルプロバイダーとしてもものづくりの現場を支えます。

### 資材事業が取り扱う製品・サービス

#### ■ 耐火物製品

中国山東省にある合弁会社魯東耐火が製造する「マグネシア・カーボンレンガ」は年産7万トンを誇り、日本国内の大手高炉メーカーの転炉、取鍋に多数納入されています。また、電気炉メーカーの二次精錬設備向けに製品を販売しております。



マグネシア・カーボンレンガ



アルミナ・シリカ系耐火物



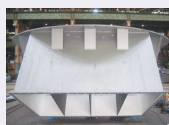
ろう石レンガ



プレキャストブロック

#### ■ 耐摩耗セラミックス 「セラフィックス (CERA-FIX)」

「セラフィックス (CERA-FIX)」は、セラミックス外表面に金属面の露出がない飛躍的な耐熱・耐摩耗性を持つ新構造溶接工法です。総合セラミックスエンジニアリングパートナーとして、お客様のご要望に応じて設計、施工からメンテナンスに至る一貫体制を提供します。



セラレイトダクト



エビ管

#### ■ 圧延用鍛造ロール

2023年、日本アドバンスロール株式会社 (JAR) をグループ会社に迎えました。JARは、各種圧延用鍛造ロールの設計・開発・製造・販売・保守事業を展開している専門メーカー。鍛造ロールのトッププレイヤーとして、国内のみならずアジア・オセアニア地域を中心とした海外のお客様との幅広い取引基盤を有しています。



圧延用バックアップロール



多段式圧延機用ロール



電磁鋼板圧延用ワークロール

#### ■ 切削工具

国内外の需要家向けに、中国製刃先交換式ドリル、歯切り工具をはじめとする切削工具をプロデュースしています。品質性能は国内或いは海外一流メーカーと同等、若しくは同等以上の製品を提供します。刃先交換式ドリルは日本国内での在庫保有による即納体制を整えており、需要家の納期に応えます。



刃先交換式ドリル



歯切り工具 (浙江上優刀具有限公司)



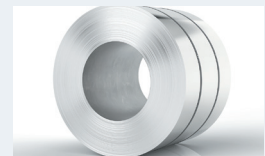
## 各種鉄鋼製品をグローバルマーケットに向け供給し、 海外での事業構築や事業提携も積極的に推進。

鋼板類、条鋼類といった高付加価値鋼材を、東南アジアを中心に世界各地へ安定供給しています。日本からの鋼材輸出事業にとどまらず、多様化するお客様のニーズに対応し続けるために、三国間取引も含めたグローバルサプライチェーンを構築しています。

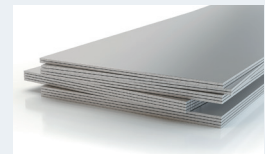
### 鉄鋼事業が取り扱う製品・サービス

#### ■ 鋼材輸出・三国間取引

自動車部品や建設資材、鉱山用重機設備などの原材料となる日本の大手鉄鋼メーカーの高品質な鋼材を、グローバルマーケットに供給し、お客様の事業活動に貢献しています。また、多様化するお客様のニーズに対応するべく三国間取引も含めたサプライチェーンを構築しています。



コイル



鋼板



線材



## 鉄鋼業界の抱える課題を解決すべく、 さまざまなデジタルソリューションサービスを展開。

2050年カーボンニュートラル目標と2030年の排出削減目標の達成、DX推進による製造現場の効率化の実現など、鉄鋼業界は大きな変革期の真っ只中にあります。私たちは多様なデジタルソリューションサービスを開発・展開することで、ものづくりの現場から、自動化、省力化、デジタル化等をお客様とともに推進していきます。

### デジタルソリューション事業が取り扱う製品・サービス

#### ■ 耐火物残厚測定システム

可搬性のある三次元測定機及び解析ソフトを耐火物向けに開発し、現場の各設備を測定、残厚をデジタル算出するシステムです。残厚情報を定量データ化し、材質・ライニングの見直しによる炉寿命最適化からアフターサービスまでトータルコストの適正化を提案します。

##### <高い可搬性>

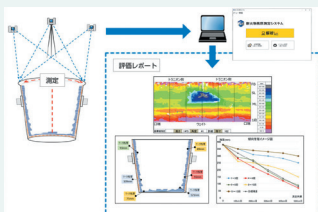
モバイル式の高精度三次元測定機を用い、固定設備化せず、複数設備を測定可能です。

##### <耐火物サポート>

お客様の使用環境に適した耐火物を、残厚データと幅広い供給網からご提案可能です。

##### <専用カスタマイズ>

当社グループ会社によりソフトを開発し提供します。解析手順の簡易化・自動化に加え、お客様のご要望に応じた自動レポートの生成が可能です。



#### ■ 鉄スクラップAI等級判定システム

●中国最大級の法人用クラウドサービスプロバイダーである用友ネットワーク科技股份有限公司から「鉄スクラップAI判定システム」の日本向け独占販売権を取得し、サービスを提供しています。

●日本が排出する二酸化炭素のうち、最も排出量が多い産業として知られている鉄鋼業界。現在、業界を挙げてカーボンニュートラルに向けたさまざまな技術ニーズが生まれており、その一つが高炉から電炉への転換です。電炉は高炉に比べ二酸化炭素排出量が少ないという利点がある一方、高品質の鋼を生産する際には原料となる鉄スクラップの選別を高度化することが必須となります。

●私たちは、現在目視で行っている等級判定作業にAIを導入したソフトウェアサービスを提供することで、製鉄現場の効率化と省力化を実現します。





## 未来を築くパートナーとして、日本から世界へ、 世界から日本へ。そして現地に根付くソリューションを。

創業以来、営々と築いてきた東京貿易マテリアルのグローバルネットワーク。それは未来に向かって、中国、アジア、オセアニア、そして日本と世界各国を強く、確かにつないでいきます。さらには東京貿易グループが持つ総合力・ネットワークやノウハウ、商品・サービス等を積極的に活用することで、お客様の幅広いニーズにお応えし続けます。

### TML History Digest

- |  |   |
|--|---|
| 1947年：東京貿易グループの前身である株式会社東京貿易商會を設立  | 1996年：中国浙江省上虞市に合弁会社上虞東舜耐火材料有限公司を設立、耐火物事業体制を強化                               |
| 1953年：中国との戦後初のバーター取引に成功、「トマス方式」を生み出し、日中貿易の先駆者となる   | 1999年：豪州・クック炭鉱に出資、非微粘炭の取引拡大に取り組む  |
| 1954年：鉄鋼取引に進出し、八幡製鐵(現日本製鐵)の指定輸出入業者となり、鉄鋼および関連取引発展の基礎をつくる   | 2001年：トマス貿易(上海)有限公司(現東京貿易(中国)有限公司)を設立                                       |
| 1959年：豪州 B.H.P. 子会社ジョン・ライサート社向けホットコイル大量成約、ソ連(現ロシア)モスクワに駐在員事務所を開設。以降 1965 年にかけて豪州シドニー、メルボルン、米国ニューヨーク、中国北京などに相次いで駐在員事務所を開設 | 2002年：トマス(天津)国際貿易有限公司(現東京貿易(中国)有限公司北京分公司)を設立                                |
| 1962年：EEC(現 EU)市場向け鉄鋼製品大型輸出を実現する   | 2005年：製鉄用耐火レンガ事業総合化への取り組みとして、中国に当社100%出資の東京貿易(北京)有限公司(現東京貿易(中国)有限公司北京分公司)設立 |
| 1966年：豪州 B.H.P. 社マンガングリニウム総代理権を取得  | 2006年：東京貿易金属株式会社(現東京貿易マテリアル株式会社)を新設分割により設立                                  |
| 1974年：カタールに合弁一貫製鉄所 QATAR STEEL CO.,LTD. を設立し、中東ではじめての製鉄所を建設、国外立地・多国間取引に進出  | 2008年：ベトナム・ハノイ事務所開設   |
| 1980年：豪州 B.H.P. 社グレゴリー炭長期輸入契約を締結   | 2009年：中国山西省の循環型産業チェーン石炭複合プロジェクトに参画  |
| 1983年：原料炭供給源の多様化に対応しカナダ・クイントットコール社へ出資  | 2010年：インドネシア・ジャカルタ事務所開設   |
| 1995年：中国山東省済南市に合弁会社済南魯東耐火材料有限公司を設立して耐火物の製造・販売事業に進出   | 2011年：ベトナム・ホーチミン事務所、インド・コルカタ事務所開設   |
|  | 2019年：中国石炭複合プロジェクトが原料炭の商業生産を開始  |
|  | 2023年：中国用友会社と鉄スクラップAI等級判定システムの日本向け独占販売店契約を締結<br>日本アドバンスロール株式会社の株式取得         |

## 会社概要 - COMPANY PROFILE-

商号 東京貿易マテリアル株式会社  
TOKYO BOEKI MATERIALS LTD.

本社 〒104-0031  
東京都中央区京橋 2 丁目 2 番 1 号 京橋エドグラン 28 階  
TEL.03-6633-6502 FAX.03-6841-8106  
HP. <https://www.tokyo-boeki-materials.co.jp>

設立 2006 年（平成 18 年）10 月 1 日

資本金 4 億円

主要取引銀行 株式会社三菱 UFJ 銀行本店

株主 東京貿易ホールディングス株式会社（100%出資）

世界と未来をつくるソリューションプロバイダー



**TOKYO BOEKI MATERIALS LTD.**